

このコーナーでは、農業のちょっとしたコツを、市の営農指導員からお知らせします。

## 営農指導員のワンポイントアドバイス

営農指導員 若山 謙

### 果菜類の定植・管理について

#### 土作り

野菜作りの基本は土作りです。土が硬ければ根の張りも悪く、肥料の吸収も良くありません。土が柔らかく、根が張りやすい土壌環境にすることが重要です。

● 完熟堆肥（有機物）を1アール当たり200〜300キログラム散布し、土とよく混ぜる。

● 苦土石灰などの土壌改良材を、定植の2〜3週間前に1アール当たり15〜20キログラム散布し、土とよく混ぜる。

#### 基肥

果菜類は、生育期間が長く、順々に収穫するため、基肥と追肥の併用が必要です。基肥には肥効（肥料が作物の生育に与える効果）の長い緩効性肥料、有機質肥料などがおすすです。

#### 苗の準備

苗選びは、野菜作りにおいて重要です。次の点に注意して、良い苗を選びましょう。

#### 苗を選ぶときのポイント

● 双葉がしっかりとって、本葉が肉厚で葉色が濃いこと

● 節の間が詰まって茎が太いこと  
● 病害虫が付いていないこと（特に葉の裏）

#### 定植時のポイント

● 定植前からマルチを張り、地温を高くすることで、活着（しっかりと根付くこと）や生育が良くなる。

● 定植は晴れた日の午前中に（痛んだ茎葉が早く回復するため）

● 植え穴にたっぷり水をやり、根鉢（根と土の塊）を崩さないように丁寧に植え付ける。土を軽くかけ、株元を軽く押さえる。

● 深植えは水が溜まりやすく、病気が活着不良の原因になるため注意が必要。

● 定植の深さは鉢上の表土が見える程度か地表よりやや高め。

#### 排水対策

果菜類の生育期間は、梅雨時期と重なり、降雨のため排水が悪くなる場合があります。水が農地に停滞すると、作物の根が弱ったり、生育が止まったり、ひどいときには枯死します。

農地の周りに溝を掘り、農地外に水が逃げるようにしましょう。また、定植するあぜを高くして停滞水から根を守ることも大切です。

#### 問い合わせ

農業振興課農業振興係  
0824・73・1131

## 庄原が好き

このコーナーでは、人と人とのつながりや暮らしのストーリーを、シリーズで紹介しています。まちを知り、地元の新なる魅力を発見することで、人を、まちを、もっと好きになりますように。



東城町で古民家再生や新築・リフォームをしている佐伯 真史さん

「先祖代々受け継ぎ、守り、残してきた里山の原風景がまちの宝である」との思いから、東城町で古民家再生に力を入れている佐伯さんに話を聞きました。

#### 古民家再生

高校を卒業後、大阪の建築の学校に進学しました。大阪で就職することも考えていましたが、祖父の代から続く建築業を受け継ぐため、東城町に帰ることを決めました。

仕事を始めた当初は、住宅の新築や新建材を利用したリフォームを行って来ました。その頃は、田舎の古民家にはいいイメージを持っていませんでしたが、大阪から西城町の古民家に移住した夫妻と出会い、都会の人にとって古民家は珍しいもので、むしろ新しいものに映ると気付きました。

それに気づいてからは、特性や味わ

いのある木材、風土に適した素材（土壁・しっくいなど）を生かしてきた大工・左官の技術力など、自分自身が古民家の魅力に引き込まれていきました。

また、見慣れた田んぼや畑など、先祖代々大切に受け継ぎ、残してきたこの風景や物こそ、まちの宝だと気付きました。これらを残していくことが、都会にはない庄原ならではの魅力となり、移住や定住につながるものだと信じています。

#### 仲間づくり

私は住宅の仕事をしているので、住宅に関係する庄原の魅力を伝え、地域が少しでも活性化してほしいと思っています。今後は、まちを良くしたいという思いを持っている人と一緒に、庄原を良くする活動をしていきたいと思っています。

SNSの投稿募集中  
「#庄原が好き」  
で投稿！



▲投稿を  
チェック

#### 問い合わせ

自治定住課定住推進係  
0824・73・1257